

事業報告書

- 検定職種 : 機械保全職種
- 事業年度 : 2025年度 (2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火))

事 項	計画	状況
1 試験科目の認定等 (1) 指定試験機関技能検定委員 の選任計画等 【能開則第63条の9第3項及び第 4項に関する事項について】	・ 試験問題作成担当(査読担当含む)の検定委員は、必要に応じ交代又は追加で選任する。試験問題作成担当の検定委員は、30名～35名程度とする。 ・ 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員は、再任および交代・追加により、250名～300名程度を選任する(任期は1年)。 ・ 試験範囲・試験方法を検討する部会を設け、産業界のニーズにあった内容の検討を行う。電気系保全作業実技試験に関しては内容変更を含めたトライアル試験の作成を2025年度内に行う。	・ 試験問題作成担当(査読担当含む)の検定委員数 計32名(首席1名、機械系保全作業5名、電気系保全作業7名、 設備診断作業6名、特級5名、基礎級6名、査読担当4名) ・ 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員数 第1回試験(3級) : 144名 第2回試験(1級・2級・3級) : 228名
(2) 試験問題等の作成等の計画 【能開則第63条の9第1項に関する 事項について】	・ 試験問題作成委員会を、特級、機械系保全作業(基礎級含む)、電気系保全作業、設備診断作業の4つの部会に分け、各部会の担当委員で検討作成するほか部会を年4回～6回程度(オンライン含む)開催し、技術的検証と確認を行う。 ・ 試験問題作成事務局での根拠調査、チェック強化のほか、引き続き専門校正業者での査読(技術事項以外)も実施するとともに、正解表作成時、公開時の確認体制を強化する。	・ 試験問題作成委員会を下記のとおり開催した。 ※オンライン会議含む 特級 : 1回 機械系保全作業 : 2回 電気系保全作業 : 2回 設備診断作業 : 2回 電気系保全作業実技試験検討分科会 : 13回 共通問題作成部会 : 0回
(3) 試験問題の水準調整会議の 開催計画 【能開則第63条の9第1項に関する 事項について】	・ 3級 : 4月下旬～6月上旬にて、全国主要都市(※)で各1回実施 開催候補地 : 東京、名古屋、大阪、福岡 ・ 1級・2級 : 10月初旬～11月下旬にて、全国主要都市(※)で各1回実施 開催候補地 : 東京、名古屋、大阪、福岡 ・ 出席できない技能検定員向けには動画視聴方式により水準調整会議の出席とする	・ 水準調整会議を下記のとおり実施した。 ・ 3級 : 全国4か所で実施 5月26日(東京)、5月27日(名古屋)、5月28日(大阪)、5月29日(福岡) ・ 1・2級 : 全国4か所で実施 11月11日(東京)、11月12日(名古屋)、11月13日(大阪)、11月14

事 項	計画	状況
	る ※実施都市は、検定委員の在住状況、出席状況により最終決定。	日（福岡） 出席できない検定委員には動画による映像視聴方式で水準調整会議を実施した。
2 技能検定試験の実施等 (1) 公示・公表 ① 実施公示 【技能検定実施計画において規定される指定試験機関が行う実施公示】	・ 特級・1級・2級・3級について、ホームページ上において、2025年3月3日（月）から2026年2月27日（金）まで公示する。 ・ 第1回（3級）の詳細は、ホームページ上において2025年3月3日（月）から2026年2月27日（金）まで、第2回（特級・1級・2級・3級）の詳細は、2025年3月3日（月）から2026年2月27日（金）まで掲載する。 ・ 受検案内は、過去3年間に受検者がいた企業、工業高校、関係団体、会員企業等に配布し、周知する。また、ホームページからダウンロードできるようにする。	・ 公示は下記のとおり実施した。 2025年3月3日（月）から2026年2月27日（金）までホームページにて公示内容を掲載した。併せて試験要項、試験概要、受検申請で詳細の案内を掲載した。 ・ 受検案内の配布 - 過去3年間の申請団体に以下のスケジュールで配布し周知を行った。 3 級：2025年3月3日（月） - 特級・1 級・2 級・3 級：2025年8月1日（金）
② 実技試験問題の概要、合否基準並びに試験問題及びその正答の公表	実技試験（製作等作業試験）の概要 ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題概要は、ホームページにおいて、試験実施の3週間前を目途に掲載して公表するほか、受検票とともに通知してダウンロード可能とする。 合否基準 ・ ホームページにおいて掲載して公表する。 試験問題及びその正解の公表 ホームページにおいて、すべての試験日程が終了した日から2週間以内に、問題及び正解を公開する。ただし、機械系保全作業、設備診断作業の判定材料（資料、写真、図版等）及び電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題、機材、正解は公開しない。	① 実技試験の概要【電気系保全作業（製作等作業試験）】 ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）は以下の通り公表した - 第1回・第2回（3 級）：2025年5月7日（水） - 第2回（1級・2 級・3 級）：2025年11月4日（火） ② 合否基準 ・ 運営するホームページにおいて常時公表している ③ 試験問題およびその正答は以下の通り公表した ・ 第1回（3 級）：2025年6月27日（金） ・ 特級・1 級・3 級：ホームページにおいて、2026年1月16日（金）【※】 ・ 2 級：ホームページにおいて、2025年12月19日（金）【※】 ※製作等作業試験である電気系保全作業の正答、機材、および判断等試験である機械系保全作業、設備診断作業の判定材料(写真、図版等)は除く

事 項	計画	状況
(2) 受検申請書の受付 【法第47条第1項に関する事項】	① 第1回（3級） ・ インターネット受付：2025年4月1日（火）10:00～4月18日（金）18:00 ・ 郵送受付：2025年4月1日（火）～4月11日（金）消印有効 ② 第2回（特級・1級・2級・3級） ・ インターネット受付：2025年8月25日（月）10:00～9月26日（金）18:00 ・ 郵送受付：2025年8月25日（月）～9月19日（金）消印有効	① 第1回（3級） ・ インターネット受付：2025年4月1日（火）10:00～4月18日（金）18:00 ・ 郵送受付：2025年4月1日（火）～4月11日（金）消印有効 ② 第2回（特級・1級・2級・3級） ・ インターネット受付：2025年8月25日（月）10:00～9月26日（金）18:00 ・ 郵送受付：2025年8月25日（月）～9月19日（金）消印有効
(3) 受検票等の交付に係る計画 【法第47条第1項に関する事項】	申請事項が適正なものに対して、試験日の2週間前までに電子メールで通知し、ホームページから受検票をダウンロード可能とする。	受検票は以下の通りダウンロード可能とした 第1回（3級）：2025年5月23日（金） 第2回（特級・1級・2級・3級）：2025年11月14日（金）
(4) 実技試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙「2025年度技能検定実施計画」のとおり。	別紙1のとおり。
(5) 学科試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙「2025年度技能検定実施計画」のとおり。	別紙1のとおり。
(6) 試験の合否判定等の状況 【法第47条第1項に関する事項】		・ 合否判定基準に基づき下記のとおり技能士合格と判定した 特級：245人 1級：3,502人 2級：5,783人 3級：5,203人 基礎級：690人 随時3級：100人 随時2級：0人

事 項	計画	状況
(7) 合格者の発表等 【法第47条第1項に関する事項】	下記のとおり試験日から29営業日以内に合格発表を行う計画で、厚生労働大臣による合否決定の手続き等を実施する。 ① 第1回（3級） 2025年8月1日（金） ② 第2回（2級 電気系保全作業実技試験を除く） 2026年1月30日（金） ③ 第2回（特級・1級・3級 電気系保全作業実技試験を除く） 2026年2月24日（火） ④ 第2回（1級・2級・3級 電気系保全作業実技） 2026年3月23日（月）	・ 厚生労働省による合否決定に基づき下記のとおりホームページへ掲載し、全受検者へ結果通知の発送を行った。 合格発表（ホームページ） ① 第1回（3級）：2025年8月1日（金） ② 第2回（2級 電気系保全作業実技試験を除く）：2026年1月30日（金） ③ 第2回（特級・1級・3級 電気系保全作業実技試験を除く）：2026年2月24日（火） ④ 第2回（1級・2級・3級 電気系保全作業実技）：2026年3月23日（月） 結果通知の発送 ① 第1回（3級）：2025年8月13日（水） ② 第2回（特級・1級・2級・3級）：2026年3月23日（月）
(8)合格証書の交付等の状況	-	・ 技能士合格者に対して、下記のとおり合格証書を交付した。 ※（ ）内は合格証書の再交付件数 特級：245（1）人 1級：3,502（52）人 2級：5,783（92）人 3級：5,203（28）人 基礎級：690（0）人 随時3級：100（0）人 随時2級：0（0）人
3 その他 (1) 秘密保持義務、業務制限等の周知	秘密保持義務、秘密事項の範囲、秘密資料の適切な取扱い及び業務制限について、試験業務に関わる役職員に対しては2025年4月に部内研修で周知し、技能検定委員に対しては、選任時及び水準調整会議において周知徹底する。	・ 秘密保持義務を含む情報管理について、試験業務を担当する職員に対し2025年4月に周知徹底した。 ・ 技能検定委員に対しては、秘密保持および業務制限について選任時に説明するほか、水準調整会議において説明し周知徹底した。
(2) 試験業務に関する内部監査の実施	試験業務に関与していない役職員を監査担当者に任命し、2026年2月～3月の間に、試験業務を対象に、内部監査を実施する。	・ 試験業務に関与していない企画管理・調査研究部マネジャーおよび普及推進部マネジャーの職員の2名を監査担当者とし、2026年3月27日

事 項	計画	状況
		(金) に内部監査を実施し、2026年5月18日 (月) の理事会にて報告を行った。

別紙 1 試験日・実施地区

- 試験年度 : 2025 年度 (2025 年 4 月 1 日 (火) ~2026 年 3 月 31 日 (火))

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
随時 2 級 随時 3 級 基礎級	学科 実技	2025 年 4 月 1 日 (火) ~2026 年 3 月 31 日 (火) において 当会が指定する日	各都道府県において、当 会が指定する会場	随時 2 級、随時 3 級、基礎級は下記のとおり試験を実施した。 随時 2 級 : 2025 年 4 月 1 日 (火) ~2026 年 3 月 31 日 (火) 随時 3 級 : 2025 年 4 月 1 日 (火) ~2026 年 3 月 31 日 (火) 基礎級 : 2025 年 4 月 1 日 (火) ~2026 年 3 月 31 日 (火) 当会が指定する場所 (主として、監理団体または受検者が所属する企業 内または当会が確保した会場や当会保有の研修室)にて実施した。
3 級	学科	第 1 回 : 2025 年 6 月 22 日 (日) 第 2 回 : 2026 年 1 月 11 日 (日)	- 各都道府県に 1 会場 を目安に、設置する。 - 具体的な会場設置場 所は、県庁所在地また は地理的・交通の便を 考慮し、かつ過去 3 年 間の実績及び 2025 年度の受検希望者数 をもとに決める。実績や 希望者が少ない地域 でも、他の試験会場ま での距離や交通手段 を考慮して試験会場を	3 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 第 1 回 : 2025 年 6 月 22 日 (日) 第 2 回 : 2026 年 1 月 11 日 (日) ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技	第 1 回 2025 年 6 月 7 日 (土) ~7 月 6 日 (日) の間で、当会が指定する日 に複数回実施 第 2 回 2025 年 11 月 29 日 (土) ~2026 年 2 月 22 日 (日) の間で、当会が 指定する日に複数回実施。		3 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 第 1 回 機械系保全作業 : 2025 年 6 月 22 日 (日) 電気系保全作業 : 2025 年 6 月 7 日 (土) ~7 月 6 日 (日) の間 で、当会が指定する日に試験を実施した。 第 2 回 機械系保全作業 : 2026 年 1 月 11 日 (日) 電気系保全作業 : 2025 年 11 月 29 日 (土) ~2026 年 2 月 22 日 (日) の間で、当会が指定する日に試験を実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
特級	学科	2026 年 1 月 11 日（日）	設置することがある。 ・ 企業・学校からの団体申込みの場合、当該企業・学校を会場とすることがある。	特級学科・実技試験は下記のとおり試験を実施した。 2026 年 1 月 11 日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技			
1 級	学科	2026 年 1 月 11 日（日）		1 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 2026 年 1 月 11 日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技	機械系保全作業、設備診断作業 2026 年 1 月 11 日（日） 電気系保全作業 2025 年 11 月 29 日（土）～2026 年 2 月 22 日（日）の間で、当会が指定する日に複数回実施。		1 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ① 機械系保全作業、設備診断作業 2026 年 1 月 11 日（日）に実施した。 ② 電気系保全作業 2025 年 11 月 29 日（土）～2026 年 2 月 22 日（日）の間で、当会が指定する日に試験を実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
2 級	学科	2025 年 12 月 14 日（日）		2 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 2025 年 12 月 14 日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙 2 のとおり
	実技	機械系保全作業、設備診断作業 2025 年 12 月 14 日（日） 電気系保全作業 2025 年 11 月 29 日（土）～2026 年 2 月 22 日（日）の間で、当会が指定する日に複数回実施。		2 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ① 機械系保全作業、設備診断作業 2025 年 12 月 14 日（日）に実施した。 ② 電気系保全作業 2025 年 11 月 29 日（土）～2026 年 2 月 22 日（日）の間で、当会が指定する日に試験を実施した。

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
				※実施地区は別紙 2 のとおり

別紙2 <2025 年度 会場設置地区(都市)>

特級 : 29 都市 29 会場

札幌、仙台、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区、横浜、新潟、富山、福井、松本、岐阜、浜松、名古屋、津、大津、大阪、神戸、奈良、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、熊本、那覇

1 級 : 学科（機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業）、実技（機械系保全作業・設備診断作業） 55 都市 56 会場

札幌、青森、一関、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、豊橋、岡崎、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

2 級 : 学科（機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業）、実技（機械系保全作業・設備診断作業） 59 都市 60 会場

札幌、青森、八戸、一関、仙台、秋田、山形、郡山、つくば、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、豊橋、岡崎、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、高知、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

3 級 第 1 回 : 学科（機械系保全作業・電気系保全作業）、実技（機械系保全作業） 61 都市 61 会場

札幌、釧路、青森、八戸、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、白河、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、長岡、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、奈良、和歌山、鳥取、松江、江津、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、那覇、沖縄

3 級 第 2 回 : 学科（機械系保全作業・電気系保全作業）、実技（機械系保全作業） 61 都市 61 会場

札幌、青森、八戸、盛岡、一関、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、白河、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、長岡、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、奈良、和歌山、鳥取、松江、江津、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、高知、福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、那覇、沖縄

3 級 第 1 回：実技（電気系保全作業） 34 都市 35 会場

札幌、釧路、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、2 3 区、横浜、新潟、金沢、松本、岐阜、静岡、名古屋、津、大津、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、熊本、大分、宮崎、那覇

1 級・2 級・3 級 第 2 回：実技（電気系保全作業） 52 都市 160 会場

札幌、帯広、青森、盛岡、一関、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、2 3 区、横浜、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、徳島、高松、松山、福岡、北九州、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇、沖縄

以上

2025年度 機械保全技能検定 収支決算書

2025年度 2025年4月1日～2026年3月31日まで

事業の名称	機械保全技能検定
事業の内容	機械保全技能検定の実施
事業実施法人の名称	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

単位：円

科 目		予算額	当年度	増減
I 事業収入	(1)受検手数料	545,393,000	509,928,700	▲ 35,464,300
	(2)その他収入	20,883,000	16,845,700	▲ 4,037,300
	(3)事務手数料	4,394,000	5,209,900	815,900
収入合計(A)		570,670,000	531,984,300	▲ 38,685,700
II 費用	(1)事業費	473,085,000	447,014,765	▲ 26,070,235
	諸謝金	30,763,000	35,281,417	4,518,417
	会場費	100,000,000	68,898,110	▲ 31,101,890
	旅費交通費	31,500,000	24,997,949	▲ 6,502,051
	消耗品費	12,078,000	13,919,458	1,841,458
	印刷費	15,381,000	12,730,958	▲ 2,650,042
	通信運搬費	61,000,000	59,871,976	▲ 1,128,024
	業務委託費	192,363,000	185,204,964	▲ 7,158,036
	その他	30,000,000	46,109,933	16,109,933
	(2)管理費	97,038,000	99,270,341	2,232,341
	職員人件費	60,781,000	59,320,103	▲ 1,460,897
	管理物件費	36,257,000	39,950,239	3,693,239
費用合計(B)		570,123,000	546,285,106	▲ 23,837,894
当期収支(A-B)		547,000	▲ 14,300,806	▲ 14,847,806